

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	良くなる		
	やや良くなる	商店街（代表者）	・年末年始を控え、賞与も支給されることから、少しは景気感が上向くのではないかと。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・最近の仕入価格の高騰は厳しいが、需要があるうちは少しの値上げなら、商品は売れると考えている。ただし、消費税増税の後は分からない。
		スーパー（店長）	・2014年に入ると、消費税増税前の駆け込み需要が発生し、景気が良いように感じるが増えると予想している。
		スーパー（財務担当）	・冬のボーナスが若干増加すると予想している。また、消費税増税前の駆け込み需要が若干あるとみている。
		コンビニ（店長）	・引き続き、建築業者の購買力が力強い。500円の弁当では安すぎるから、880円の弁当の注文を受けた。価格に敏感な主婦の利用も増えており、時間の節約なのか、重い商品を近くで購入する動きもみられ、それが出来る経済状況なのだと感じる。
		衣料品専門店（経営者）	・今は売上も来客数もかなり低調であるが、年末にかけて多少は良くなるのではないかと。しかし、来年、消費税が増税され、また厳しくなると予想している。
		家電量販店（店員）	・今後、ボーナス・年末年始・新生活準備と需要が増える期間を迎えることと、消費税増税前の駆け込みが予想される。
		乗用車販売店（従業員）	・受注台数が前年比120%で推移している。消費税増税前の駆け込み需要も期待される。
		乗用車販売店（従業員）	・消費税増税に伴い、3月までは駆け込み需要が発生すると予想されるが、4月以降は反動による売上減少が心配である。
		乗用車販売店（営業担当）	・消費税の増税に伴う駆け込み需要が少し出てきており、来年3月までは良い方向にあるとみている。
		乗用車販売店（役員）	・新車の受注が増えてきている。今後も消費税増税に伴う駆け込み需要により、受注、販売状況は上向いていくだろう。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・年末は、お歳暮用品などの需要がおう盛で、お正月用品の需要もある。今より景気は良くなると考えている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・衣料品の客単価が若干上がってきている。
		タクシー運転手	・12月と1月は、人の移動、飲食の頻度も増えるともみている。
		通信会社（企画）	・現状が続くと思われるが、3か月前に比べて若干鈍化しつつあるように感じられる。
		通信会社（営業担当）	・新商品の発売が続き、来店客数・販売数が上昇すると想定。
		競艇場（職員）	・11月から1月に掛けて、大きなレースの開催が予定されており、かつ本場開催も多くあることから売上増が期待できる。地元レーサーが活躍すればさらに売上が伸びる。
		美容室（経営者）	・この調子で良くなる気がする。
	変わらない		商店街（事務局長）
		商店街（代表者）	・中小零細企業や一般家庭にはアベノミクスによる景気浮上策が見えてこない。増税と市場価格の値上がりだけが先行する結果を招きそうだ。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・来店客の動向から考えて、良くなるとは思えない。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・良くなるイメージも、悪くなるイメージも持てない。
		百貨店（営業担当）	・単価の高い物は売れているものの、通常の客の動きにやや低調な感じがしており、全体としては変わらない。
		スーパー（店長）	・景気に影響を与える要因が見当たらない。
		スーパー（企画担当）	・商品の値上げが続くので買上単価は上がると予測するが、客数の伸びは厳しいものがある。
		コンビニ（総務）	・天候や気温に左右されるが、消費が増えるような施策が全くないため変化しない。
		衣料品専門店（総務担当）	・依然として景気のいい話は聞こえてこない。収入が下がっている顧客もあり、厳しい状況が続くとみている。

		家電量販店（店長）	・景気が上向いた実感もない中で、消費税増税が決まり、客の財布のひもは更に固くなっていくのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車に関する税金の行方がはっきりするまでは、販売面で変化はないと思う。駆け込み需要もその後の落ち込みを考えると、ありがた迷惑なところがある。
		住関連専門店（経営者）	・販売量は相変わらず伸びないと予測している。
		観光型旅館（経営者）	・3か月先が今より良くなっているとは思えない。政治の状況にもよるが、今の状態が年末から年初にかけて続くのではないかと。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況が低調なため、現状と変わらないとみている。
		旅行代理店（支店長）	・来年の消費税増税により、旅行の駆け込み需要が期待できるが、台風の襲来や天候不順が続けば低迷することも心配される。
		ゴルフ場（従業員）	・今月が悪かったから、今後の景気は、今よりは良くなると思う。11月以降の予約を見ると、昨年よりは伸びている。
		美容室（経営者）	・年末に向けて多少上向き動きがあると思うが、相対的には悪いまま変わらない。
		設計事務所（所長）	・建築費の高騰で事業をやめる人と、新しい投資をする人と、両方いる。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・今月の秋物商戦の遅れから、秋冬物の立ち上げがかなり遅くなる。同時に、12月、1月のバーゲン待ちの客が多くなるため、かなり厳しい冬物商戦になってくる。4月の消費税増税が、消費者のマインドを低下させる大きな要因になる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・地方では景気の回復など他人事で、生活は全然良くなっていない。富裕層は消費税増税までに、大きな買い物をする人が多いのではないかと予想する。中間層以下については好品の酒類などを含め、警戒はしないだろうとみている。
		コンビニ（店長）	・売上増加が見込めない中、他チェーンの出店攻勢により一層の競争を強いられて来ている現状で、改善は期待できない。
		タクシー運転手	・冬はお遍路の仕事も減り、街で働くしかないが、今の街の状況は景気が良くなるような雰囲気がない。収入面で今よりもすごく悪くなるのではと不安に思っている。
		観光名所（職員）	・閑散期であり、季節的には厳しい時期を迎える。
	悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・アベノミクスの影響で物価が上昇し、買い控えが始まっている。
		スナック（経営者）	・12月になれば、期待できるが、閉店が相次ぐとの声を多く耳にしている。
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括）	・消費税アップに伴う経済対策への期待感を感じる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・国内消費は消費税増税、東京オリンピックも睨んだ前倒しの需要が期待される。一方、輸出関連は受注回復傾向にあり順調に推移すると期待しているが、海外での地域差は大きく、動向を注視する必要がある。
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・今後も小売店からの受注は好調に推移し、消費マインドは確実に上向いている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・例年、12月は一番多く出荷できる時期で、業界では年末に向かって出荷量は増加してきている。但し、当社では一部商品（トイレトペーパー）の取扱を止めるため、全体での売上高では対前年を下回るとみている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・太陽光発電関連の受注が増加傾向にある。最近では、50kW未満の小型機種（一般家庭向け等）の受注が増えており、企業向けの大型機種も徐々に受注を増やしている。今後、向こう何か月、何年続くかは予想できないが、これまではない期待感を持っている。
		通信業（部長）	・新商品も発売され、冬商戦に向け販売は活発になる。
		金融業（融資担当）	・特に悪化する材料はない。都市部での景気回復が地方まで波及するのはとの期待感はある。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・一般消費者の賃金が上がらないため、小売店の売上増は当面見込めない。
		鉄鋼業（総務部長）	・造船関連受注の回復は年内見込みなし
		建設会社（経理担当）	・受注量は増加傾向にあるが、資材価格値上がりや職人不足による値上げ等も予想され、利益は横ばいで、景気はあまり変わらないと考える。
	建設業（経営者）	・人材不足とともに、材料費や人件費が高くなっている。	

	建設業（経営者）	・事業量は増えているが、各社とも処理能力に限界がある。急に人材や資材・設備を増やすことも出来ず、下請等も不足しており、現状では受注増が困難な状況になりつつある。事業量は多いが、それが受注増に結びつけられず、景気も変わらない。	
	輸送業（経営者）	・収益を従業員の給料へ転嫁するにはまだ難しい状況。原材料の高止まりなど、内需中心の会社には厳しい状況が続く。	
	輸送業（営業）	・燃料油価格の高止まりが経営を圧迫する状態が続く。仕事を間接受託する受発注の多層構造が適正運賃の収受を阻害する状態を作り出している。下請運送業者は今後も厳しい運営を強いられる。	
	広告代理店（経営者）	・一部の県外大手得意先は販促広告費が増加しているが、家電販売等の得意先は売上低下に伴い販促費が削減されている。今後、消費税増税前の販促費増加が見込まれるのは一部得意先に限られ、多くの地元企業は現状では未定。結果として、あまり変わらないとみている。	
	公認会計士	・経営者は、消費税増税後の需要減少を非常に気にしており、その対応に追われているように見える。しばらくの間、景気は変わらないと判断する。	
やや悪くなる	農林水産業（総務担当）	・現在の高値が継続すると、2か月先(年末)には、受注量の減少が懸念される。	
	電気機械器具製造業（経理）	・主要市場の消費動向が、当社予測を下回る見通しとなっている。	
	不動産業（経営者）	・数か月前は消費税増税前の駆け込み需要等の動きがみられたが、今は少し落ち着いてきている。今後、増税後は需要の低下が予想され、我々の業界はやや厳しい状況になるとみている。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連 (四国)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・増税前の駆け込み需要もあり、消費は今より増えることが確実とみている。
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・年末商戦に向けて人員強化の傾向が見込まれ、求人も、増加し消費意欲は高まると考える。しかしながら、季節労働での指数と捉えると、正規の雇用までにはいかないとみている。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数は増加傾向にあり、少しずつ景気の上昇が期待できる。
		求人情報誌（営業）	・求人数をみると、雇用が促進されているように見えることから、数か月先の景気には少し期待感はある。但し、正規雇用の割合は依然として低く、楽観できない。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率は前月比0.02ポイント上昇し、前年同月比でも0.19ポイント上昇しており、今後への期待感はある。
変わらない		人材派遣会社（営業担当）	・しばらくは全産業とも業績が上がる材料が見当たらず、当面は現状維持に留まると考える。
		職業安定所（職員）	・消費税増税前の駆け込み需要に伴う求人増の動きがみられるが、企業の業績回復等、経済全体の景気回復を示す動きとは、少し異なる部分がある。
		職業安定所（職員）	・採用する側にも、景気がいつまで続くか分からず、明確な将来ビジョンも持てないことから、非正規雇用しかできないものとする。
		民間職業紹介機関（所長）	・もうすぐ賞与支給の時期になるが、昨年を上回って支給する企業は少ないと思われる。また、来春の賃金のベ-スアップについても、現状維持という企業が多い。
		学校〔大学〕（就職担当）	・依然として、景気回復への期待感、期待感に留まり、足踏み状態が続くと考える。
やや悪くなる		求人情報誌製作会社（従業員）	・例年、年末に向けて求人数が減少する傾向にある。景気はやや悪くなるとみている。
悪くなる	-	-	-